

赤羽根市街地・太平洋ロングビーチ地区

<現況特性>

赤羽根市街地及び赤羽根漁港を除いた海岸部は三河湾国定公園の第2種特別地域に指定されている。サーフィン利用やアカウミガメの産卵地として有名な太平洋ロングビーチを中心に、広域的な利用を見込んだ整備が予定されている。また、連続する海岸斜面林と砂浜の雄大な景観が眺望できる。しかし、近年、海岸斜面林の足元に広がる砂浜が侵食されつつある。

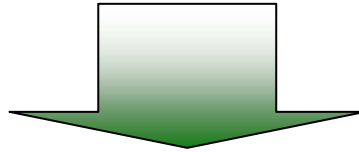
また、渥美豊橋自転車道が海岸沿いに走っており、雄大な景観を楽しめるが、周囲の景観との統一感がない。

市街地内では街路樹整備や都市公園整備が進んでおらず、市街地の緑量が乏しい状況である。



<課題>

- 連なる海岸斜面林と砂浜の機能向上
- アカウミガメの産卵地の保護
- 自転車道の利用促進
- 広域利用拠点の確保
- 市街地の緑量増加のための都市公園の創出



<テーマ>

世界的に利用されているサーフィン、アカウミガメの産卵地、海浜植物の生育地などの各種ポテンシャルを活かした「海の交流拠点」として、広く来訪者を受け入れる施設と体制を充実させ、緑豊かで、市民や来訪者が快適に暮らすことができる場の質の向上を図る。



図 5-4-10 : 赤羽根市街地・太平洋ロングビーチ地区将来像



赤羽根市街地・太平洋ロングビーチ地区

＜地区テーマ＞
世界的に利用されているサーフィン、アカウミガメの産卵地、海浜植物の生育地などの各種ポテンシャルを活かした「海の交流拠点」として、広く来訪者を受け入れる施設と体制を充実させ、緑豊かで、市民や来訪者が快適に暮らすことができる場の質の向上を図る。

- シンボル拠点
- メイン利用ネットワーク
- サブ利用ネットワーク
- サブ利用ネットワーク (トレイル、サイクリングロード他)
- 緑の生態系ネットワーク (緑道・緑地)
- 水の生態系ネットワーク (河川・ため池)
- 半島をとりまく「海」
- 半島の基盤となる「田園」
- 半島の背骨となる「山」
- 浜の保全・養浜
- 岩礁の保全
- 海岸斜面林の保全
- 小・中学校、市民館
- その他の緑 (民間施設、公共施設など)
- 地区界